

令和元年 11 月 25 日資料配布

「心のバリアフリー」ってなんだろう？ ～明石市立小学校でのバリアフリー教室に注力～

神戸運輸監理部と近畿運輸局では、共生社会ホストタウン※に登録されている明石市との共催で昨年度から明石市内の小学校において「バリアフリー教室」を開催しています。今年度はこれまでに2校で開催しており、今回は3校目として、明石市立人丸小学校において開催します。

本教室では、障害当事者である明石市の職員が講師となり、子どもたちにお年寄りや身体の不自由な方に対して「お手伝いしましょうか」と自然に声をかけて快くサポートできる「心のバリアフリー」を呼びかけるとともに、車いすを使用してのバス乗降体験をとおして、交通施設のバリアフリー化の重要性を理解してもらうことを目的としています。また、環境問題の啓発もあわせて行い、自家用車よりも地球にやさしいバスの利用を促進することとしています。

- 日時：令和元年11月29日（金）10時40分～12時15分
- 場所：明石市立人丸小学校（明石市東人丸町26-29）
- 対象：同校4年生138名（4学級）
- 内容：別紙のとおり
- 主催：国土交通省神戸運輸監理部、国土交通省近畿運輸局、明石市
- 後援：公益社団法人兵庫県バス協会
- 協力：神姫バス株式会社

前回のバリアフリー教室の様子



視覚障害疑似体験



車いす自走体験



ノンステップバス乗降体験

注（※）「共生社会ホストタウン」は、東京2020大会のパラリンピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に焦点を当てた取組を推進する自治体です。明石市は台湾、韓国の車いす卓球選手との交流を予定しており、みんなが暮らしやすい「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」により、「やさしい社会」を明石から全国に広げるなど、誰も置き去りにしない共生社会の実現を目指しています。

当日の取材をお願いします。防犯上の都合により取材は事前に下記問い合わせ先にお申込みください。

配布先
兵庫県政記者クラブ 神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 企画推進本部 交通環境室
担当：大山、櫻岡
電話：078-321-3145（直通） FAX：078-321-3474

神戸運輸監理部では、高齢者や障害者の疑似体験や介助体験を通じて、バリアフリーへの理解を深めるとともに、ボランティア意識を醸成し、誰もが高齢者や障害者に対して「お手伝いしましょうか」と自然に声をかけて快くサポートできる「心のバリアフリー」を推進するため、平成14年度より毎年、兵庫県内各地で「バリアフリー教室」を開催しています。

明石市立人丸小学校「バリアフリー教室」スケジュール等

○10:40～10:50 オリエンテーション

○10:55～12:10

◆車いすによるバスの乗降体験（約20分）

ノンステップバスを用いて、最新のバリアフリー設備について学習するとともに、高齢者、車いす利用者、視覚障害者等のバス利用時における配慮等について理解を深める。

◆車いす自走・介助体験（約20分）

車いすのひろげ方・たたみ方・段差の越え方等、基本操作を学習するとともに、自走・介助体験を通じて、車いす利用者の気持ちや介助の重要性を理解する。

◆視覚障害疑似・介助体験（約35分）

アイマスクを用いて全盲の状況を疑似体験し、視覚障害者への介助方法等、適切なコミュニケーション方法について学習する。

○12:10～12:15 講評等・閉会